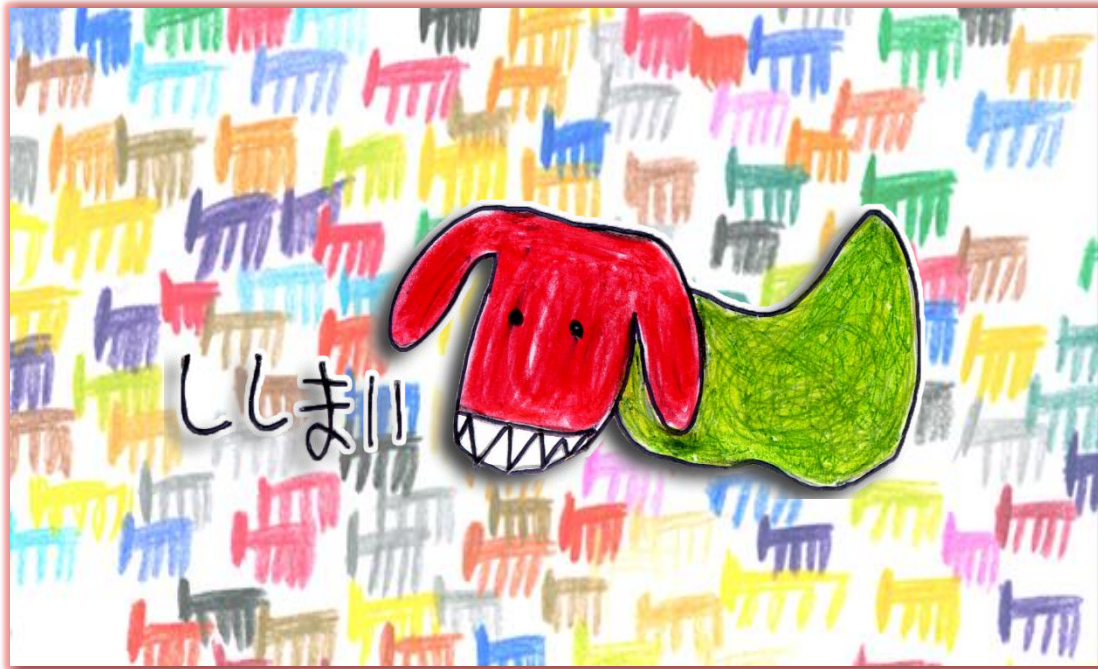




新年のごあいさつ

社会福祉法人戸田わかくさ会



障害者福祉から住みよいまちづくりを

今年もがんばりますー！

明けましておめでとうござい
ます。埼玉県、戸田市をはじめ
関係機関の皆様、地域の皆様、
さらに多くの方々のご支援に感
謝申し上げます。

昨年は、わかくさ（多機能事
業所）の新築移転、市内はじめ
てのグループホームの開設など
事業を拡充し、障害のある人々
のニーズに応えてまいりました。
さらに、法人全体で地域の皆
様に感謝し、地域の人々に障害
のある人々の働き方や暮らしへ
の理解を深めていただく場とし
て「第1回戸田わかくさ会まつ
り」を開催しました。関係機関
はじめ地元の皆様、大勢の方に
ご来場いただきました。誠にあ
りがとうございました。

国は障害者総合支援法、障害
者差別解消法など法整備をすす
め、障害者の差別禁止や社会参
加を促す国連の障害者権利条約
の批准が国会で承認・可決され
ましたが、このような社会的環

境の変化をきちんと受け止め、
障害者の生きる権利、生活する
権利を具現化するために引き続
き頑張つてまいります。

特に地域社会の一員として生
活するには、ケアホーム等住居
系サービスを増やしていく必要
があります。さらに行動援護等
の居宅支援事業などの検討も必
要と考えています。

戸田わかくさ会は、障害のあ
る人たちの社会福祉サービスを
創設し、ノーマライゼーション
と福祉豊かな地域社会の実現を
めざしています。

今年には社会福祉法人化して、
10年になります。この節目を
明日の10年に向けてのスター
トにしていきたいと考えていま
す。今後ともご支援を賜りませ
ようお願い申し上げます。

皆様にとつて、心豊かな年で
ありますよう心からご祈念申し
上げます。

平成二十六年 一月

社会福祉法人戸田わかくさ会

理事長 横山 ユタカ

統括施設長 竹 嶋 紘

「働くよろこび」

～昨年5月に新築移転しました～ わかきさ

昨年5月にJR高架下の場所から、すぐ近くの住宅地の中に「新わかき」が誕生しました。引越後、新しい建物になっ



伝票を手に売上を報告

て初めて新年を迎えます。今年もよろしくお願い致します。

◆売上金額と揺れる納品担当者の気持ち

缶作業班は週に1回、プレスしたアルミを業者へ納品し、その売上げが工賃になります。今年度入所した久保さんが缶の納品担当者です。引き取り価格の変動があり、納品時の金額が毎回違うので、期待を込めて納品を楽しみにしている久保さん。納品を終えて「今日は1万円超えたよ！」と嬉しそうに大声で教えてくれます。でも値段が下がっているとも声もトーンダウンしてしまいます。

◆仕事をすること

寒暖の激しい屋外作業、地域を回って回収し、皆でプレスをしてトラックに積んで、納品。その売上げが皆の工賃につながる。この中で「働く喜び」を感じているのだと思います。また、引取り単価の違いから社

会とのつながりを実感している最中なのかも知れません。そんな一瞬に立ち会えることは、支援員として嬉しく思います。

今年もたくさんの方々の笑顔とやる気に溢れる「わかき」を目指して、日々一層努力してまいります。
* * * * *
(塩谷)

もっともっと広げたい 和菓子工房ゆうゆう

福祉作業所 ゆうゆう

去年は、浦和パルコの販売会「どらコレ」に三日間の参加や、利用者や職員もスーツ着用での営業、訪問販売など、いろいろとアピールし、営業・訪問販売で三十件の新規開拓を達成した飛躍の年でした。営業担当の今野さんは、「大変だったけど、たくさんやらやきが売れてうれしい。これからも頑張りたい。」と語ってくれました。



一泊旅行（山梨 昇仙峡）

◆新年の目標は？

「もっともっととゆうゆうのことを知ってもらおう」です。地域向けの広報誌を定期発行し、和菓子以外の活動や利用者のとりくみもお伝えしていきます。あわせて、地域での営業・販売も強化し、六十件の取引先の確保が達成できるように一丸となって取り組めます。販売可能な場所の紹介などのご連絡お待ちしております。

◆創作活動や余暇活動も

駅前清掃やフラワーセンター作業、室内作業などの充実、クラブ活動や一泊旅行などの余暇活動等も活発にします。とりわけ創作活動のアート作品を鑑賞・販売する機会を増やしていきたいと考えています。（石川）

厳しさの中に楽しさを！

プロの技で「ミニ清掃会社」を 福祉作業所かがやき

昨年から就労継続 B 型の利用を始めた M さんは、かがやきに入って職員や他の利用者とは話さず、利用者との会話が弾み、とても楽しいと語ってくれます。M さんの笑顔が所内を明るく・楽しくしてくれ、また、職員の励みにつながっています。

◆**新たに保健所清掃を受注**
埼玉県が障害者優先調達法に基づいて実施した業務委託の入札を経て 10 月より川口保健所の清掃管理業務を受託することができました。保健所職員の出勤前に行わなければならない作業など、朝早く大変なのですが、皆様からの励まし、利用者も張り切って毎日取り組んでいます。
かがやきは多機能事業所（就労移



行支援・就労継続 B 型) ですが、今年には性格的には B 型から、より A 型に近い機能を持つ事業所にしていきたいと考えています。これまで同様、作業は清掃作業を中心として進めますが、職員も利用者も清掃技術をスキルアップし、外部の要求に応えていきたいと考えています。要するにプロのミニ清掃会社というところでしようか。



◆**就労移行も体系強化を**

昨年は M 食品、S 薬局に計 3 人の利用者が就職しました。今後も安定して就労し続けるよう期待しています。

かがやきとしては、就労移行支援に関する体系的なプログラムの充実や新規開発を図るとともに、より職場に近いところでの実習や訓練を増やし、就職に向けた支援を充実させたいと考えています。
厳しさの中に楽しさを感じられるような事業所を目指して頑張りますので今年もよろしくお願いいたします。(鈴木)

みんなが笑顔で過ごせるホームに

ケアホーム下笹目・グリーングラス上戸田 グリーングラス第 2 上戸田

わかき会では、ケアホーム下笹目、グリーングラス上戸田に加え、昨年 10 月に法人初のグループホーム「グリーングラス第 2 上戸田」が開所し、現在 3 つのホームに 19 名が暮らしています。

◆**年中無休のホーム**

昨年はグリーングラス上戸田が 365 日ホームで過ごすことができるようになり、入居者は思い思いの週末を過ごしています。

また、行き場のなかった利用者を他事業所と連携して受け入れました。課題もありますが、入居者みんなが安心して生活できるよう、日々悩みながら奮闘しています。

◆**ずっと地域でくらすため 支える仕組みづくりを**

今年は、入居者が年を重ね障害が重くなってもできる限り地域での暮らしを続けていけるよ

うに法人全体で支える取り組みを行います。

ホームのキャッチフレーズ『ほっとできる家、自分で決めて自分でつくる暮らし』を実現し、入居者が毎日元気に仕事や事業所に通うことができるよう、25 名の世話人と生活支援員で一丸となって支援します。
(礪波)

ホーム合同のバーベキュー大会



職人技のおふたりから

ミキサー職人と餡つめ職人さん

福祉作業所ゆうゆう

ゆうゆうの和菓子班は、現在7名の利用者が製造、販売、営業に携わっています。昨年は、営業の成果もあり売上も1・5倍増だった和菓子班。製造も販売も大忙しだった1年間でした。

「自分が楽しんでます。」とにっこり。自分で働いて得た給料で生活を楽しむようになりました。また、楽しみのためにもお仕事を頑張りたいとも話してくれました。新年も1月6日から和菓子班は元気な挨拶で皆様をお迎えいたします。午前中には店頭から作業場内で真剣な表情で製造している様子もご覧いただけます。是非、ゆうゆうに足をお運びください。（石川）



和菓子職人の二人（店頭で）

かがやき O B・O G

もちろん、仕事がんばってます！

半年前に戸田市内のM食品にかがやきから2名就職しました。仕事は、出荷用の段ボール箱の組み立てと大きさごとの仕分けです。日を追うごとに、組み立て数や効率も上がり、仕事の報告にかがやきに来る時の顔は生き生きとした表情に変わってきました。そこで、お二人にお話を伺いました。

◆順調にっています

土田和憲さん

Q…半年経

つてお仕事はいかがですか？

A…辛いことはありま

せん。順調にっています。

（段ボールの）テープ貼りも早くなりました！皆にも声をかけて、話しています。

Q…就職をして、変わったことはありましたか？

A…たくさんの人と仲良くなれました。

Q…皆さんに一言お願いします。

A…これからもがんばります！

◇うまくいっています。トラブルなしです！ 大山奈津子さん

Q…半年経っていかがですか？

A…人間関係もうまくいっています。段ボールの組み立ても、大きさに分けるのも慣れてきました。始めの頃は緊張したけれど、皆いい人です。

Q…就職をして、変わったことはありましたか？

A…体調管理が出来るようになってきま

たか？

A…体調管理

が出来よう



和菓子職人の二人（店頭で）

ザ・インタビュー「先輩と後輩」 わかかさ

今年度入所した長谷川さんと在籍6年目を迎える古澤さんに今年の抱負とわかかさでの生活について聞いてみました。

●今年度入所の長谷川さん

Q..わかかさの仕事はどう？

A..たのしいよ！

Q..どの仕事が好きですか？

A..ボール！洗うのと運ぶの！

(※洗浄と納品)

Q..わかかさでやりたいこと(抱負)

負)はありますか？

A..たくさんお金もらう！

(※工賃がたくさん欲しい。)



●先輩の古澤さんに

Q..仕事はどうですか？

A..いいよ。やってるよ。

Q..楽しかった思い出は？

A..忘れた…。(照れ笑い)

Q..やりたいこと(抱負)は

ありますか？

A..ないよ。だけどお、

千円全部10枚欲しい！

(※工賃がたくさん欲しい。)

●ふたりは先輩・後輩。

初めは、後輩の長谷川さんの仕事の面で厳しい古澤さんでしたが、写真のように今では仲良しのふたりです。

一所懸命に仕事を覚えようとする長谷川さんの姿を見て、先輩の後輩を見る目がとても優し

くなりました。

長谷川さんにも先輩の存在は大きく、『自分の仕事は責任を持ってやり遂げること』をとっても意識できるようになっています。古澤先輩に教えてもらったのかな？(笑)

今年はお互いに協力し、新しいことに挑戦できると良いですね。今年もふたりの活躍がますます楽しみです。(塩谷)

やるぞ！みんなで！！

ホーム入居者のみなさん

「みんなで買い物、食事がしたい」

「一泊旅行に行きたい」

みんなでワイワイ意見を出し合い、行きたい所がたくさん出てきました。今年はみんなで計画を立てよう！

「ホームのまわりを掃除したい」

何人かの利用者から自発的に上がった抱負。自分達が住んでいる家・地域に愛着をもってきたのかな？

「ホームが明るくなるようにしたい」

この抱負は、1人の利用者が真剣に考えだしたもので、それに対して「そうだよね」「いいと思う」と他利用者も笑顔で答え、また苦笑いをしながら頷く利用者もいて、みんなでホームを今以上に居心地のよい場所にしたいという思いが伝わってきました。

「自立したい(料理も自分達で作れるようになりたい)」

ニコニコしながら語ってくれました。

やるぞ！みんなで！！



外食です

地域で「暮らすこと」を応援します！（わかば）

■「わかば」って？

障害者生活支援センターわかばは戸田市福祉保健センター一階で障害者ご本人やご家族・関係者からのよろず相談に応じています。「知らなかった！」「行ったこと無い！」という方は一度立ち寄ってみませんか？障害者が働く『カフェこるぽ』も同じ建物内にあります。

■相談で多いのは？

ちよっとした心配ごとから深刻な問題まで様々ですが、福祉制度やサービス利用に関する相談が多数寄せられます。「サービスを利用したいけど、どんなサービスがあるの？」

「試しに利用してみることを出来る？」「誰に頼めばいいの？」

などなど。また、「サ



私たちに任せ下さい

「サービス等利用計画」の相談も受け付けています。その他、生活のお困りごとや気にかかることなど、なんでも大丈夫です。まずはお電話下さいね！

■わかばのねがい

地域の皆さんと協力して、暮らしやすい地域を一緒に作っていきましょう！（高野）

「働く仲間・働きたい人」が集える場所になりました

（障害者就業・生活支援センターみなみ）

昨年5月、当センターは北戸田駅東口徒歩5分の場所にあるビルの1階に移転し、以前の倍以上の広い場所になりました。

二つの面談室と職業スキルの検査キット(MWS)を常備し、4名の職員が対応しています。

◆3年間で125人の就労者

開所して約3年弱になります。その中で125名の方が就労



TEL 048 - 446-6785
戸田市
福祉保健センター内
月～土 8:30～17:15

※市内にはわかばを含めて3つの相談支援事業所があります。わかばは主に新曽、笹目、美女木地区を担当しています。

していただきます。新年も引き続き、一人でも多くの方の「働きたい」希望を実現出来るように、お手伝いさせていただきます。

◆定着支援と良暇余暇サロン

また、今年も定着支援の取り組みを強化致します。

中でも、就労者の余暇支援の一環として働く仲間の交流会「良暇余暇（よかよか）サロン」を定期的開催（年3回）するようにしたところ、参加者は

年々増加。昨年は毎回25～30名の方が参加し、交流を深めました。

◆よかよか交流スペース
今年から常設します

サロン以外にも気軽にいつでも集える場所として、センター内に交流の場、よかよか交流スペースを1月より常設します。働いている人も、これから働きたいと思っている人も、一緒に学び、交流を深めて行きたいと考えています。

お気軽に、お寄り下さい！（山本）



若さと渋さの4人です

マッチングにスポットをあてて

戸田市障害者就労支援センター

◆開設6年目を迎えます

就労支援センターはかがやきの2階にあり、戸田市在住の障害者の就労に関するご相談に応じています。登録者数は138

名で約半数66名が就労者です。

◆マッチングとは？

私たちが支援員が常に心掛けていることで、ご本人の希望と適性に応じた職種または企業を選んでいくことです。

◆私に合う仕事って何？

会社を選ぶ際に、勤務時間や給料等雇用条件面の希望以上に注意を払うのが、「どんな仕事に興味があり、ど

んな作業が得意なのか」です。昨年7月に5年ぶりに職を得たAさんは体力に自信があり、繰り返し作業でも集中力を切ら

すことのない長所を生かすことのできる仕事に出会いました。

会社の理解と本人の意欲・得意な仕事で気持ち良く働き、長く勤め続けてもらえそうです。

◆今年も大切にしたいこと

これまで以上にマッチングを意識した就労支援をしていきたいと考えています。就労を目指す方々が、自分の実力を十分に発揮して、一人ひとりが生き生きと働き続けられるよう、私たち支援員も全力で支援していきます。

（長谷川）



真面目が売りの3人です！



ただ今、開店準備作業中

心を込めた接客を

CAFEこるぼ

（とだ障害者共同受注センターこるぼ運営）

戸田市福祉保健センター1階

営業：月曜～土曜 10:30～16:30

補助を受けて始まり、約2年半が経過し、運営も順調に進んでいます。

昨年は、従来の喫茶メニューに加え、パスタやお酢ドリンクを開発・販売しました。また、関係団体による30人規模のティーパーティーに商品提供などへの挑戦など、市内の各事業所（※）から派遣されるスタッフも着々と実力を重ねてきました。これからも「お店に来て幸せな時間が過せた」と言っていただけのように、心をこめて皆様をお迎えしたいと思えます。

（事務局・石川）

※現在わかき会のゆうゆう・かがやきと市内の精神の2事業所からの派遣。事務局はゆうゆう

仕事を探しています！

共同受注センターにご相談ください。加盟施設で協力・協同して取り組むことができます。

（事務局：ゆうゆうまで）

謹製アートグッズ！大絶賛発売中！

わかくさ・ゆうゆうでは、描かれた作品を用いて商品開発し、利用者の皆さんの給料につなげています。
T シャツ、トートバッグを企業のお客様がご注文なされる場合、名入れ等も承ります。(納期 2~3 週間)



【T シャツ各種 ¥2,500-】(注文先: ゆうゆう)
※サイズ、カラー豊富に取り揃えております。

【トートバッグ ¥2,000-】(注文先: ゆうゆう)
※A4 サイズ資料もたっぷり入る、厚手で丈夫なトートバッグ。2013 年 9 月、埼玉県知事による感謝状贈呈式(県庁・知事室)にて、埼玉音楽文化協会への贈答品に使用されました！



耐熱マグカップ
¥600-(注文先: わかくさ)
※マグ本体の外側に、世界にひとつ、一点物の原画作品が差し込まれています。
手描きの原画アートをもっと身近に。

(編集後記)
例年通り、年賀状のご挨拶を計画していましたが、お伝えしたい思いがふくらみ、何と「8 ページの年賀状」となりました。ご高覧下されば幸いです。
法人化して 10 年目を迎える(社福)戸田わかくさ会への引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(草)

(法人の運営する事業所)

わかくさ、福祉作業所ゆうゆう、福祉作業所かがやき、ケアホーム下笹目、グリーングラス上戸田、グリーングラス第2上戸田、障害者生活支援センターわかば、戸田市障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センターみなみ
(ホームページはこちら)

<http://www.wakakusa-kai.com/>

発行

社会福祉法人戸田わかくさ会

〒335-0021 戸田市新曽 1522-1

TEL 048-432-8198 fax 048-432-8298

戸田わかくさ会には

アーティストがたくさん！

1 月はアート展の企画でわかくさ・ゆうゆうからも複数のアーティストが入選し、作品が展示される予定です。

日頃は「働くこと」を中心に日中活動している利用者も、表現活動を通じて感情を思い切り表出し、作品を生み出しています。言葉にならない感情や想いをぶつけた震える作品ばかりです。

◇企画名：障害者アート企画展

「うふっ。どうしちゃったの、これ!？」

今年もよ！感、飲、楽、愕」

◇日程：平成 26 年 1 月 10 日(金)～

1 月 14 日(火)まで

◇場所：埼玉会館第 3 展示室

◇入場料：無料

皆様お誘い合わせの上、是非アーティスト作品を生でお楽しみ下さい。